

区切り記号

「:」(コロン) の内部処理はタブや半角空白と同等で、それ自体に意味を持ちません。ドライバマクロやコンパイラマクロの終了、及び PSG 音色定義などの区切り文字として使用できます。

タブや半角空白も区切り文字として使用できますが、視認性を上げたい場合は「:」(コロン) を使用してください。

[例]

```
!KICK @0 l#1 (o4d<gd<gd<gd<g)e#16 ; #24
$Snare @1 o3
$Tom @2 o6
A [16 !KICK r8 $Snare:b8 !KICK !KICK r4 $Tom:b-8]
```

； キックをドライバマクロで、スネア / タムをコンパイラマクロで演奏。

； 「\$Snareb8」とは書けません（マクロ名と認識してしまうため）。
； 「\$Snare b8」と書いても構いませんが、
； 以下のように、発音単位が把握しにくくなります。

```
A [16 !KICK r8 $Snare b8 !KICK !KICK r4 $Tom b-8]
```